



板橋区

板橋区は、武蔵野台地の面影を残す徳丸・赤塚の樹林地、広大な河川敷を有する荒川、美しい桜並木に彩られる石神井川など、水と緑に囲まれた素晴らしい環境に恵まれています。また、自然環境の骨格を成す地形や植生と合わせ、社会生活と深くかかわりながら育まれてきた農や祭りなどの文化を、長く将来に受け継ぐみどり施策を展開しています。

〈板橋区立こども動物園が2025年度グッドデザイン賞受賞〉

令和7年10月15日、板橋区立こども動物園が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2025年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

・施設概要

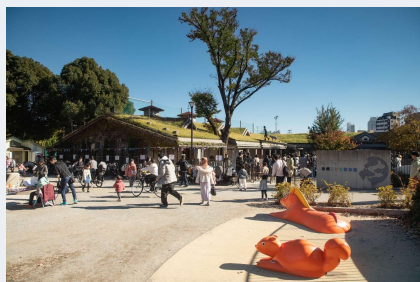
板橋区立こども動物園は、住宅街のみどり豊かな公園の一角にあり、ヤギやヒツジと無料で触れ合える施設として、区民の皆様から愛されてきました。令和2年度にリニューアルし、草屋根や壁面緑化を取り入れ、公園と一体的に整備しました。「みんなで作る、人をつなぐ」地域活動の拠点、子ども達の居場所として、誰もが過ごしやすい楽しめる施設となっています。

・デザインのポイント

- (1) 壁画アート・ピクトグラム・公園モニュメントに、絵本の世界観のデザインを取入れ、老若男女に愛される施設
- (2) 草屋根導入により、動物展示を工夫し、子ども達の感性や好奇心をより強く引き出す「真の体験」の提供
- (3) 公園内立地を活かし、商店街・大学・図書館等と連携し、地域の活動拠点となり賑わい創出を支援



動物園の概要は上記からご確認ください。



・評価者のコメント

周囲が住宅地という環境にありながら、動物が橋を渡ったり、屋根に登る姿に触れられることができるのは驚いた。子ども向けの小さな動物園ではあるが、ダイナミックな行動展示はあらゆる世代に感動を提供しているだろう。この取り組みが、周囲の連携・コミュニティを促進している。ほどよいスケール感がリピーターや連携を生んでいる要素なのかもしれない。緑化された屋根や橋が連なる風景は地域の新しいシンボルとして貢献していると思われる。

〈高島平緑地の再整備に向けた取り組み〉

新たな時代のニーズ及び区民ニーズに応えるため、都営三田線西台駅から西高島平駅にかけて続く「高島平緑地」の再整備を計画しています。令和6年度策定の「高島平緑地再整備方針」にて「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所をつくる」という方向性を示しました。

これに基づき、令和7年度から令和8年度にかけて、「高島平緑地(九丁目地区)再整備基本計画」を策定する予定です。その際は、現地でのニーズ等を把握するため、「社会実験」や「住民ヒアリング」等を実施し、得た知見を反映していきます。

・社会実験について

再整備内容や、新しい活用方法・協働体制等を検討することを目的に、様々な取り組みを実施し、効果検証を行います。
⇒ 11月社会実験では「りょくちであそぼう」と称して「こどものあそび場づくり」「農体験」「マルシェ」等を現地展開しました。
12月社会実験では参加型イルミネーションやナイトバーを催し、夜の緑地の活用形態を実証予定です。



常設社会実験(農の取り組み等)



定常社会実験(毎月のイベント等)

今後の社会実験スケジュール
(予定・いずれも仮称)
1月: 区民交流会議
2月: ウィンターパークラボ
3月: 桜音パークラボ
4月: ウェルネスパークラボ

毎月の定常社会実験に加えて、農園要素等の常設社会実験も同時展開していきます。



イベント情報は上記からご確認ください。

問合せ先: 板橋区土木部みどりと公園課

☎03-3579-2533